

告知

吉祥院図書館では TEENS 便りに特集してほしい内容やお薦めの本の紹介文、表紙イラストなどを募集しております。

図書館内の TEENS コーナーにポストと応募用紙を設置いたしますので、是非、ご参加下さい。なお、ご応募いただいた紹介文やイラストの返却は出来かねますので、よろしくお願いいたします。

2015年(平成27年)12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2016年(平成28年)1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2016年(平成28年)2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

行事予定

- テーマ展示  
12月 クリスマス  
1月 地震と地球  
2月 スイーツ・スイーツ・スイーツ
- 赤ちゃん絵本の会 12/21 12/28  
1/18 1/25 2/15
- おたのしみ会 12/19 1/23 2/27

# TEENS便り



住所：〒601-8349 京都市南区吉祥院池田町1 電話：681-1281

開館日：月・木 9:30~19:00 水・金・土・日・祝 9:30~17:00

休館日：毎週火曜日（火曜が祝日の時はその翌平日）年末年始（12/29~1/4）

URL:[http://ufinity.library01.com/kyotolib/?page\\_id=165](http://ufinity.library01.com/kyotolib/?page_id=165)

冬号の表紙はペンネーム・針目さんが描いてくださいました。ありがとうございます。



こんにちは～。過ごしよい秋も終わり、いよいよ冬本番。  
みなさまいかがお過ごしでしょうか。  
今回のTEENS便りはTEENSコーナー右手に特設しました、

## 「塔南高校図書委員ボランティア」の棚に展示されている本を大特集！！

展示テーマは「秋と冬」。  
さて。高校生たちはどんな本を紹介してくれているのでしょうか。楽しみです。

まずは『プチ哲学』。

「こうだと思っていることでも視点をかえるだけで本当のことに気づく。ちょっとだけ深く考えてみませんか」

哲学って、難しい。  
たしかに名だたる哲学者の読み物は難解を通り越して、秘密のアイテムでもないしと解説不可の魔術書レベル。  
でもこの本は違います。日常レベルの哲学がてんこ盛り。  
なるほどね～と腑に落ちること、間違いなし。かも。

次に『きみはポラリス』。

「ちょっとよみたくなる恋の小話。甘いも苦いもいろいろあります」

「ポラリス」とは北極星のこと。北極星はその位置を動かさず、古来より旅人が方向を見失わないための指針の星。  
著者は「ポラリス」の様に様々な人間関係のなかにあってもゆるぎない普遍的な何かを「ポラリス」として表現しようとしているかのように感じました。  
あなたにとっての「ポラリス」は何？  
考えさせられます。

最後に『クリスマスの悲劇』。

「推理小説といえば、だいたいの人たちがシャーロックホームズを思い浮かべるとは思いますが、それだけではあ

りません…」

この作品の最大の魅力はミス・マーブルの洞察力。憶測の噂話は人を傷つけることもあるが、真実が隠されていることが多い。という、実に奥の深い人生教訓的名言もでてきます。  
なにか一番ダメって、真相を確かめないこと。  
ぜひ、ご一読くださいませ。

さて。この他にもバラエティに富んだ高校生たちのおすすめ本、紹介されています。  
みなさま、来館時には、棚を覗いてみてくださいね。  
ではでは。また次号でお会いしましょう。

夏とは違った意味で動きたくない、家から出たくないこの季節、暖かい部屋でゆっくり読書…なんていうのも乙なものですよ。  
今回も「もこもこ」さんがイラスト投稿してくださいました。いつもありがとうございます。



と、ということで今回のテーマは「冬にコタツで読みたい本」です！

まず紹介するのは桜庭一樹さんの『少女七竈と七人の可愛そうな大人』（034808400）です。  
この作品の舞台は冬の北海道、旭川。雪国です。「たいへん遺憾ながら、美しく生まれてしまった。」主人公、川村七竈と周りの可愛そうな大人たちの物語です。七竈は鉄道模型と、幼馴染の雪風だけを友とし、静かに青春を過ごそうとしますが、その美しさゆえ周囲は彼女を放っておいてはくれません。そうして彼女は大人たちに巻き込まれていき、雪風との関係にも変化が…。七竈と雪風のおかしくてどこか切ないやり取りがすごくいいですよ。

次に紹介するのは新海さんの『秒速5センチメートル』（809576112）です。  
ご存知の方もいらっしゃるのではないと思いますが、こちらはアニメ映画先行の作品ですが、のちに小説、文庫化されており、こちらもおすすめです。桜花抄、コスモナウト、秒速5センチメートルの3つの章で展開されていきます。主人公の遠野貴樹の心情が映画とは違った、小説ならではの味わいがありますよ。映画を見てから本を読むもよし、読んでから映画を見るもよしですよ。ちなみに、私は小説でも映画でも桜花抄が一番好きな章です。

さて。2冊ほど紹介させてもらいましたが気になるものはありましたか？

どちらも冬の静かな雰囲気にはピッタリだと思います。

気が向いたら、是非、手に取ってくださいね！

## イラストコーナー



お名前（またはペンネーム）

